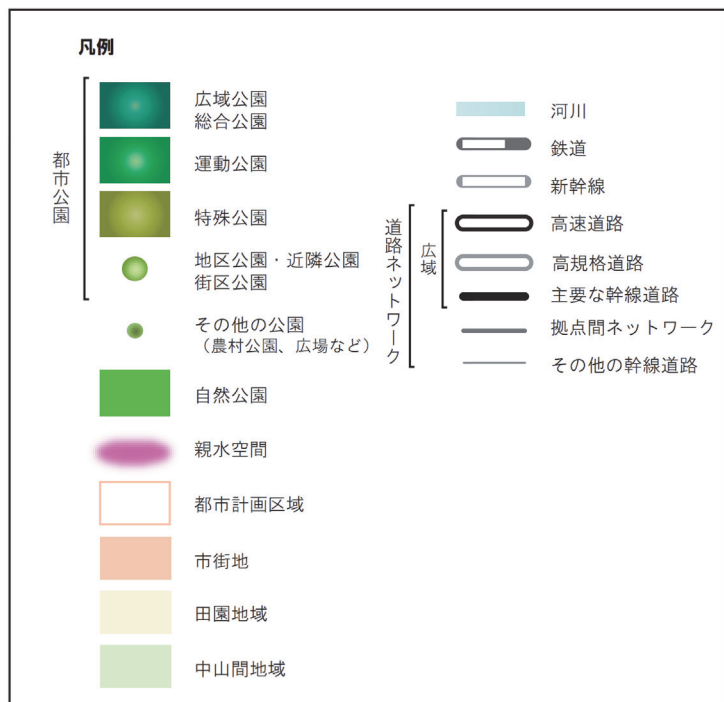
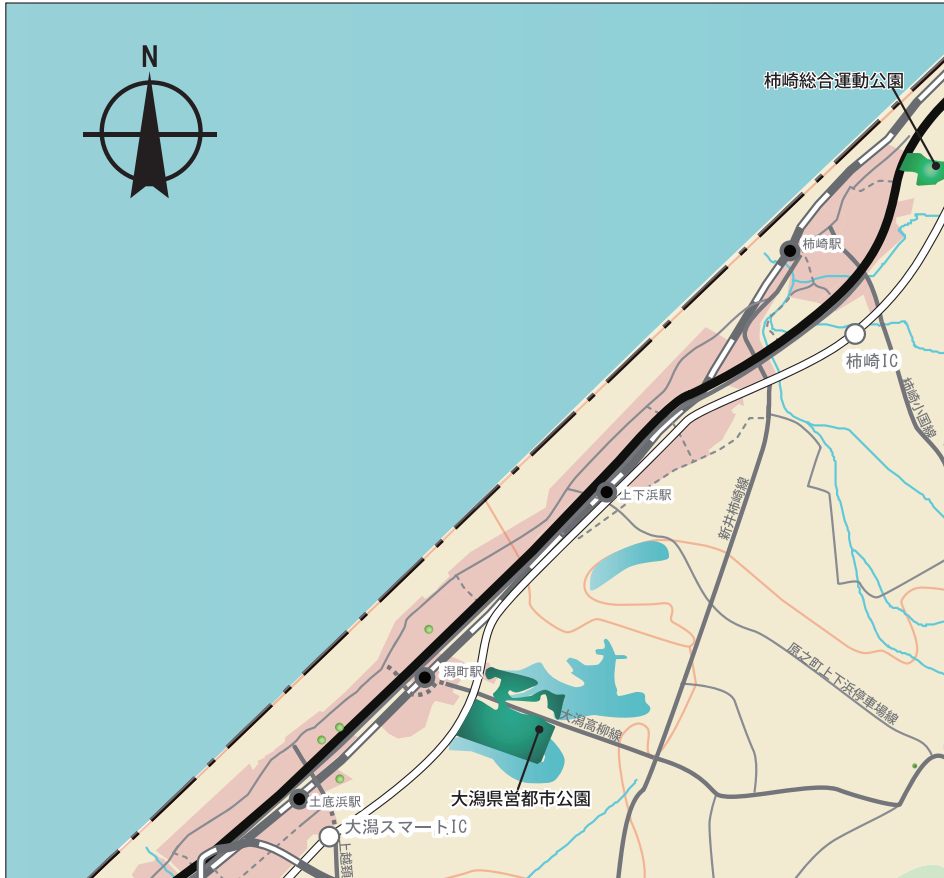


●大潟・柿崎市街地拡大図



※道路：実線は現状
点線は計画・構想

(2) 河川・下水道の方針

《基本的な考え方》

- 河川の氾濫や宅地の浸水などの水害から市民生活を守るため、国や県による河川改修の促進を働きかけるとともに、雨水幹線整備などにより、雨水排水対策の強化に努めます。
- 汚水処理施設の整備により未普及地域の早期解消を目指し、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保をを図ります。
- 終末処理場や管路施設の老朽化対策として、長寿命化計画を策定し、計画的な修繕、更新に取り組みます。

1) 雨水排水対策

①河川改修の促進と適切な維持管理

方針

- ・治水機能の向上と浸水被害の防止・軽減を図るため、国や県による河川改修事業を促進するとともに、市内の準用河川*や普通河川*について、適切な維持管理に努めます。

②雨水排水対策の強化

方針

- ・都市型水害*などの浸水被害を防ぐため、地域住民や河川管理者との連携を図りながら国や県による河川の改修・整備を促進するとともに、雨水幹線*の整備など、浸水対策を推進します。



2) 汚水処理対策

① 計画的な汚水処理施設

方針

- ・住民と協議を行いながら、地域に合った汚水処理施設整備を行い、未普及地域の早期解消に努めます。
- ・汚水処理施設が概ね10年で概成できるよう計画的に整備を進めます。

② 効果的・効率的な下水道整備

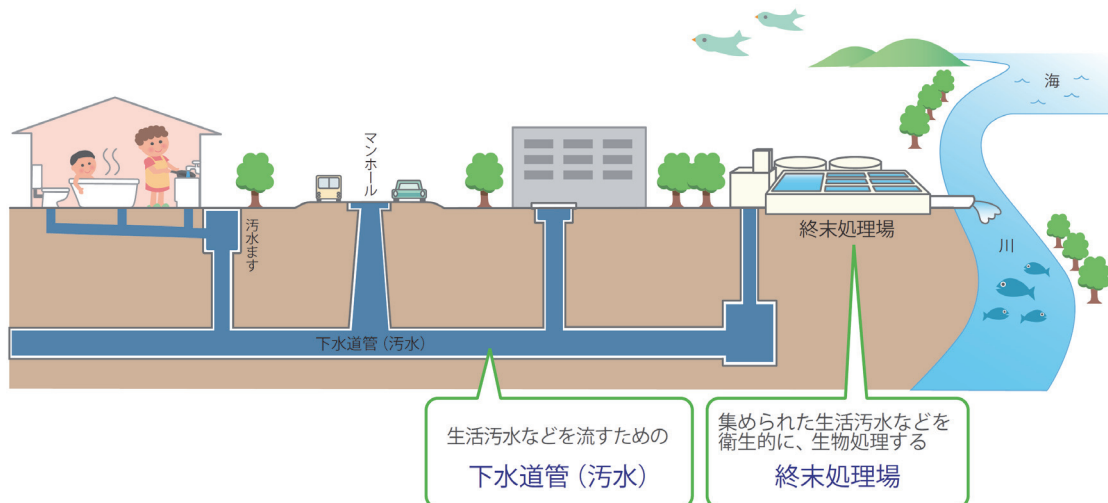
方針

- ・下水道整備がより効果的で効率的に進捗するよう、住宅が集積、密集し、かつ、住民の意向が高い地域において優先的に整備を推進します。
- ・また、効率的な汚水処理により維持管理費を節減するため、公共下水道を基幹とした農業集落排水*施設の統廃合について検討します。

③ 長期的かつ効率的な運営管理

方針

- ・施設の老朽化対策として、下水処理場及び管路施設の長寿命化計画を策定し、計画的な修繕、更新に取り組みます。
- ・災害時における安全性の確保と被害軽減を図るため、下水道施設の耐震性能確保に努めます。



下水道施設のイメージ

(3) その他施設の方針

《基本的な考え方》

- 都市計画施設については、施設の長寿命化と環境配慮型施設への転換に努めます。
- 小・中学校などの公共施設については、施設の老朽化や地域間バランスを踏まえた適正な配置に加え、効果・効率性を重視した改築・耐震化などの維持管理・更新を図ります。
- 社会経済情勢の変化や市民ニーズに応じて、環境配慮型施設への転換やユニバーサルデザイン*の普及を図ります。

1) 都市計画施設

①施設の長寿命化と環境配慮型施設への転換

方針

- ・既存の施設を可能な限り長期にわたって利活用していくため、長寿命化計画に基づき、効果的・効率的な維持管理、更新を推進します。
- ・施設の計画・更新にあたっては、省エネルギー機器や再生可能エネルギー*、未利用エネルギーの導入などにより環境配慮型施設への転換に努めます。



上越市クリーンセンター
(上越東部田園地域)



上越齋場
(直江津周辺地域)



2) 都市計画施設以外の公共施設

①公共施設の効果的・効率的な運営・維持管理

方針

- ・誰もが利用しやすい公共施設を維持していくため、市民ニーズや費用対効果、老朽化の状況などを踏まえ、関係各課との連携により統廃合や民間譲渡などによる適正な施設配置を進めます。
- ・各種整備計画に基づく改築・耐震化などにより、効果的・効率的な維持管理・更新に取り組みます。



上越青少年文化センター(廃止事例)
(直江津周辺地域)



改築した春日新田小学校
(直江津周辺地域)

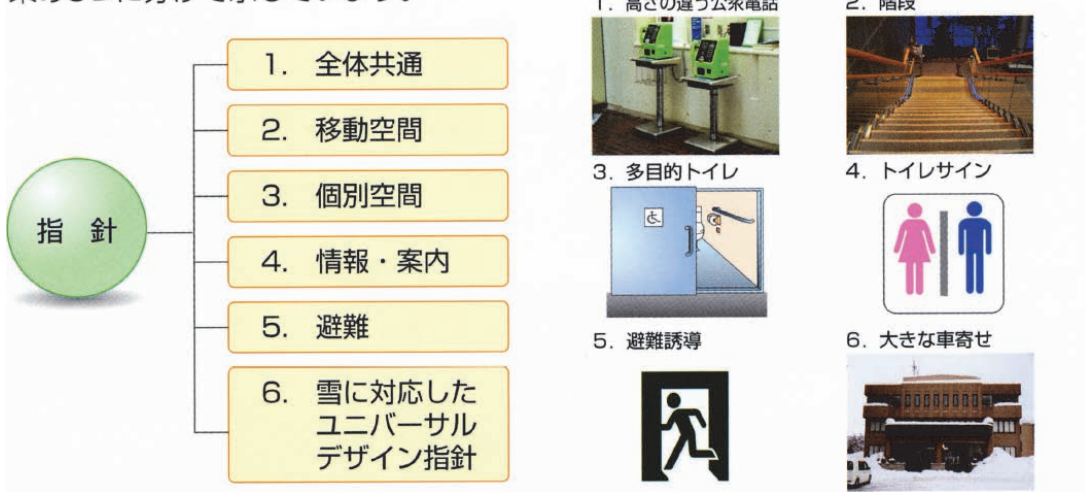
3) 施設共通

①ユニバーサルデザインの推進

方針

- ・新設や増築及び改修しようとする際には、公共建築物ユニバーサルデザイン指針に基づく整備を推進します。
- ・事業者などの関係機関との連携により、ユニバーサルデザイン*に配慮した駅前・バス停の整備やオープンスペース*やコミュニティプラザ*などの交流の場の形成を促進します。

指針では、公共建築物を全体共通、移動空間、個別空間、情報・案内、避難と雪対策の6つに分けて示しています。



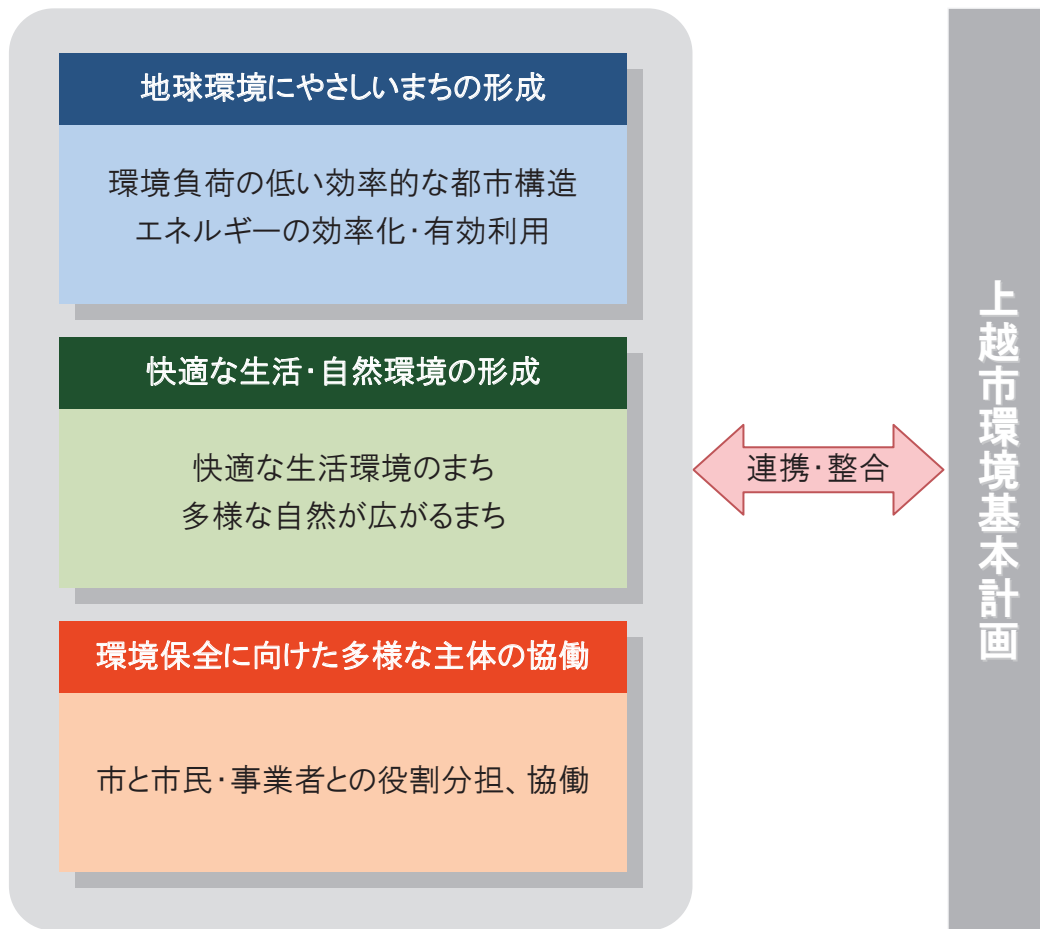
上越市公共建築物ユニバーサルデザイン指針

5 都市環境の方針

○地球環境にやさしいまちの形成と快適な生活・自然環境の形成の実現に向けて、多様な主体との協働により取り組みます。

環境負荷*の低減など「地球環境」への配慮に関する方針、身近な生活環境の向上と自然環境との共生・活用に向けた「生活・自然環境」に関する方針について示します。

また、環境保全に向けては多様な主体との役割分担のもと進める必要があることから、協働に向けた方針を示します。





(1) 地球環境にやさしいまちの形成に向けた方針

《基本的な考え方》

- 関係機関との連携を図りながら、環境負荷*の低減やエネルギーの効率利用に配慮したまちづくりを目指します。

①環境負荷の低い都市構造

方針

- ・将来都市構造に基づき、快適で充実した都市（生活）空間を形成し、各拠点が相互に連携した持続可能な都市構造の構築を図り、環境負荷*の低い都市構造を目指します。
- ・市街地、田園地域、中山間地域それぞれの特性を活かしためりはりのある土地利用を推進するとともに、各地区の暮らしを支える拠点、効率的で利便性の高い交通ネットワークの形成を目指します。

②エネルギーの効率化・有効活用

方針

- 雪をはじめとした自然資源のエネルギーを活用した地域活性化に取り組みます。
- エネルギーの効率化・有効活用に向けた省エネルギー活動や再生可能エネルギー*の普及促進を図ります。



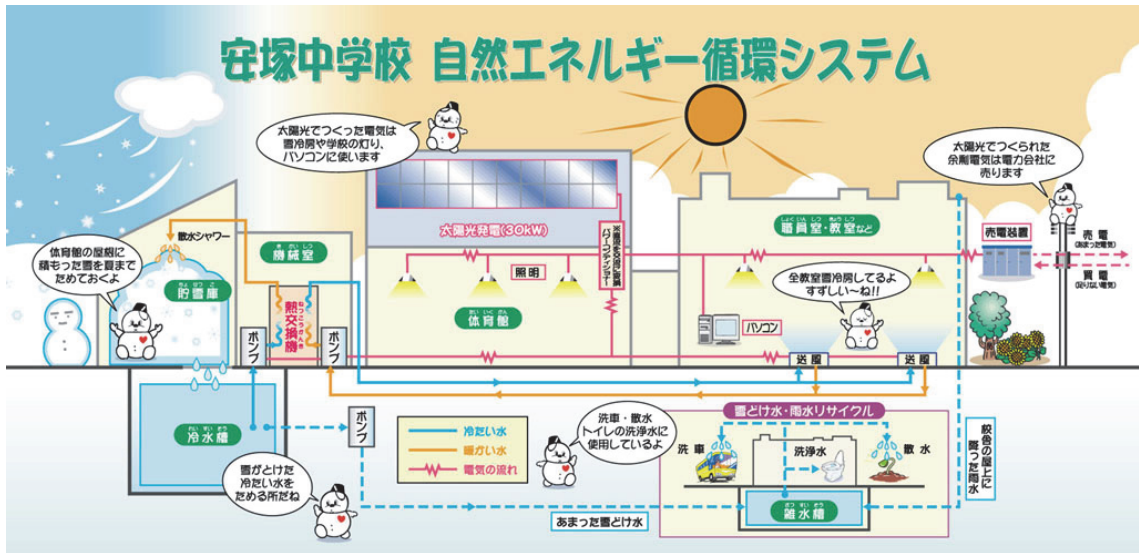
雪だるま物産館の雪室
(安塚・浦川原・大島地域)



風力発電
(名立地域)



メガソーラー
(上越西部中山間地域)



出典：公益財団法人 雪だるま財団提供

安塚中学校 自然エネルギー循環システム



(2) 快適な生活・自然環境の形成に向けた方針

《基本的な考え方》

○快適な生活環境と、豊かな自然環境が共生するまちづくりを推進します。

1) 快適な生活環境のまち

① 快適な生活環境の形成

方針

・快適な生活環境の形成に向けて、環境分野の施策により公害や環境汚染の防止や監視体制の充実を図ります。

② 生活環境の維持・向上

方針

・地球にやさしいライフスタイルを支える都市環境を形成するため、ごみの分別収集の徹底や、ごみの減量化、資源物のリサイクル*運動などの市民意識の啓発などに取り組む環境分野の施策と連携し、生活環境の維持・向上を図ります。

・地域の風土に根差した快適な生活環境を維持するため、景観に配慮した取組を進めます。



地域の海岸清掃活動
(直江津周辺地域)

2) 多様な自然が広がるまち

① 自然環境との共生

方針

- ・ 多種多様な動植物と、それらの育成・生息環境を構成する山間部、丘陵地、田園地帯、海岸部、河川・池沼などの優れた自然環境の保全を図ります。



上越市レッドデータブック
(平成 23 年作成)

② 自然環境の活用

方針

- ・ 市街地・集落地内の緑化や緑地・オープンスペース*を確保し、市民の憩いの場として有効活用を図ります。
- ・ 田園地域、中山間地域においては、市民の森など市民が環境にふれあい、自然体験や自然学習ができる施設の維持保全に努めます。



柿崎川ダム周辺の自然観察活動
(柿崎地域)